

## 令和8年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和8年2月13日

東

上場会社名 株式会社R I S E

上場取引所

コード番号 8836

URL <http://www.rise-i.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 芝辻 直基

問合せ先責任者(役職名) 取締役

(氏名) 山口 達也

(TEL) 03-6632-0711

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和8年3月期第3四半期の連結業績(令和7年4月1日～令和7年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期第3四半期	318	11.7	31	△21.9	32	△20.1	31	208.9
7年3月期第3四半期	285	10.3	40	456.2	40	510.3	10	67.3

(注) 包括利益 8年3月期第3四半期 31百万円( 208.9%) 7年3月期第3四半期 10百万円( 67.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年3月期第3四半期	△1.04	—
7年3月期第3四半期	△1.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年3月期第3四半期	1,808	1,679	92.9
7年3月期	1,826	1,648	90.3

(参考) 自己資本 8年3月期第3四半期 1,679百万円 7年3月期 1,648百万円

#### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
8年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
8年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

#### 3. 令和8年3月期の連結業績予想(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	429	11.8	25	△28.0	25	△26.7	36	298.3	△1.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
  - ② 期末自己株式数
  - ③ 期中平均株式数（四半期累計）

8年3月期3Q	96,013,277株	7年3月期	96,013,277株
8年3月期3Q	66株	7年3月期	65株
8年3月期3Q	96,013,212株	7年3月期3Q	96,013,212株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実績を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
7年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
8年3月期	—	0.00	—	—	—
8年3月期(予想)				0.00	0.00

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、ウクライナ情勢や米国の関税措置による世界経済への影響により経済の不確実性や景気の下振れリスクが懸念され先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、不動産賃貸事業と不動産管理事業を収益の柱として事業を推進しております。不動産賃貸事業売上高は前年同四半期より1百万円増加し130百万円、不動産管理事業売上高は31百万円増加し187百万円となり、売上高合計は33百万円増加し318百万円となっております。これにより売上総利益は269百万円となりました。販売費及び一般管理費は支払手数料等が増加したことにより、前年同四半期より39百万円増加しております。営業損益は31百万円の営業利益、経常損益は32百万円の経常利益となっております。また、特別利益として固定資産売却益11百万円、受取保険金15百万円、法人税、住民税及び事業税を28百万円それぞれ計上しており、この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は31百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、不動産賃貸事業売上高130百万円（前年同四半期は129百万円）、不動産管理事業売上高187百万円（前年同四半期は156百万円）、売上高合計318百万円（前年同四半期は285百万円）、売上総利益269百万円（前年同四半期は238百万円）、営業利益31百万円（前年同四半期は40百万円）、経常利益32百万円（前年同四半期は40百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益31百万円（前年同四半期は10百万円）となりました。

セグメント別の経営成績の状況は、以下のとおりであります。

#### 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、売上高は前年同四半期と比べ1百万円増加しており、また、販売費及び一般管理費が増加したこと等によりセグメント損失は前年同四半期と比べ8百万円増加しました。

以上の結果、売上高130百万円（前年同四半期は129百万円）、セグメント損失12百万円（前年同四半期は4百万円の損失）となりました。

#### 不動産管理事業

不動産管理事業では、売上高は新規の契約があったこと等により、全体で管理受託物件数の増加となり前年同四半期と比べ31百万円増加しましたが、販売費及び一般管理費が増加したこと等によりセグメント利益は0百万円減少しております。

以上の結果、売上高187百万円（前年同四半期は156百万円）、セグメント利益80百万円（前年同四半期は81百万円の利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,808百万円となり、前連結会計年度末に比べて17百万円減少しました。流動資産は、未収収益が8百万円、その他流動資産が2百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が38百万円減少した事等により前連結会計年度末に比べて27百万円減少し468百万円となりました。固定資産は、減価償却費を35百万円計上したことによる減少要因はありましたが、投資その他の資産が45百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて10百万円増加し1,339百万円となりました。

負債は128百万円となり、前連結会計年度末に比べて48百万円減少しました。これは、未払法人税等が23百万円、長期借入金が一部返済により24百万円減少したことが主な要因であります。

純資産は1,679百万円となり、前連結会計年度末に比べて31百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益31百万円を計上し利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和7年11月14日に発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	462	424
棚卸資産	0	0
未収益	25	34
その他	7	9
流动資産合計	496	468
固定資産		
有形固定資産		
建物	823	823
減価償却累計額	△688	△723
建物（純額）	134	99
土地	1,171	1,171
その他	12	12
減価償却累計額	△10	△10
その他（純額）	2	1
有形固定資産合計	1,308	1,273
無形固定資産	0	0
投資その他の資産	20	66
固定資産合計	1,329	1,339
資産合計	1,826	1,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	0	1
1年内返済予定の長期借入金	32	18
未払費用	10	9
前受収益	9	10
預り金	4	4
未払法人税等	28	4
未払消費税等	7	7
賞与引当金	5	3
<b>流動負債合計</b>	<b>97</b>	<b>60</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	10	–
退職給付に係る負債	4	5
役員退職慰労引当金	21	24
その他	42	37
<b>固定負債合計</b>	<b>79</b>	<b>67</b>
<b>負債合計</b>	<b>177</b>	<b>128</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>100</b>	<b>100</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1, 613</b>	<b>1, 613</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>△65</b>	<b>△34</b>
<b>自己株式</b>	<b>△0</b>	<b>△0</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>1, 648</b>	<b>1, 679</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1, 648</b>	<b>1, 679</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1, 826</b>	<b>1, 808</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)	(単位：百万円)
<b>売上高</b>			
不動産賃貸事業売上高	129	130	
不動産管理事業売上高	156	187	
売上高合計	285	318	
<b>売上原価</b>	46	49	
売上総利益	238	269	
<b>販売費及び一般管理費</b>	198	237	
営業利益	40	31	
<b>営業外収益</b>			
受取利息	0	0	
受取配当金	0	0	
償却債権取立益	0	0	
雑収入	-	0	
その他	0	-	
<b>営業外収益合計</b>	0	0	
<b>営業外費用</b>			
支払利息	1	0	
雑損失	0	-	
<b>営業外費用合計</b>	1	0	
経常利益	40	32	
<b>特別利益</b>			
固定資産売却益	1	11	
受取保険金	-	15	
<b>特別利益合計</b>	1	27	
<b>特別損失</b>			
固定資産除却損	0	-	
<b>特別損失合計</b>	0	-	
税金等調整前四半期純利益	41	59	
法人税、住民税及び事業税	34	28	
法人税等調整額	△3	-	
<b>法人税等合計</b>	31	28	
四半期純利益	10	31	
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	10	31	

## 四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
四半期純利益	10	31
四半期包括利益	10	31
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10	31
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間（自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	不動産賃貸事業	不動産管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	129	156	285	—	285
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	129	156	285	—	285
セグメント利益 又は損失 (△)	△4	81	77	△36	40

(注) 1 「調整額」の区分は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	不動産賃貸事業	不動産管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	130	187	318	—	318
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	130	187	318	—	318
セグメント利益 又は損失 (△)	△12	80	68	△36	31

(注) 1 「調整額」の区分は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
減価償却費	35百万円	35百万円

## (重要な後発事象)

令和8年1月30日付で下記の通り定期建物賃貸借契約を締結しております。

## 記

契約書名	定期建物賃貸借契約書
契約先	一般財団法人 郵政福祉
物件所在地	東京都港区虎ノ門1丁目14番1号 郵政福祉琴平ビル
賃借面積	137.05m <sup>2</sup> (41.46坪)
賃料	月額621,900円（別途消費税）
敷金	7,462,800円
賃貸借期間	2026年3月1日から2031年2月28日まで
用途	本社事務所
その他	2026年4月初旬に本社事務所を移転する予定